



# ほかほかだより

2025年11月7日

10月31日（金）、各学年で「なかよしデー」をしました。

「なかよしデー」では、自分自身を大切にするとともに、自分のことだけではなく、周りの友だちにも目を向け、相手の気持ちに気づいたり考えたりすることができるようになってほしいと願い、取り組んでいます。

毎日の生活やあそびの中で、様々な事を感じ、経験して、人の心地よい関係を学びながら、少しずつ成長している子どもたちですが、成長に合わせて、また新たな課題が生まれてきます。普段の生活の中でも、友だちとの関わり方について「これってどうかなあ？」と思ったことは、子どもたちと話し合ったり、考えたりしています。話し合いをしたからといってすぐには変わらないと思いますが、生活の中で似たような場面に出会った時に「そういえば、みんなで話をしたなあ。」と思い出して、どうしたらしいのか考えて行動できると嬉しく思います。

## 3歳児 「泣いたり、怒ったり、けんかしたり…最後は笑い合えたらいいね」

入園当初自分のことで精いっぱいだったりんご組。友だちと一緒にいろいろなことをする楽しさや心地よさを感じられるようになってきました。絵本『エンとケラとブン』（作絵 いわむらかずお）を見て、心の中にいる不思議な生き物と自分を重ね合わせ、クラスの友だちみんなで過ごす楽しい日常生活を共感し合いました。「みんなは毎日楽しい？」「楽しい！」「友だちとけんかすることある？」「けんかして、泣いちゃうときもあるよね？」「あるある！」なんて、会話をしながら日々りんご組で繰り広げられている楽しい友だちとのやり取りを話してくれました。

「友だちは好き？」と聞くと「大好き♡」と答えてくれる子、いろいろな経験をしながら、育っている子どもたちです。この絵本が子どもたちの心にスッと入ってきて自分と置き換えるながらみることができたようでした。けんかしたり、泣いたり怒ったりしながらも最後は笑える。安心できる友だちがたくさんいる。そんなクラスになってくれると嬉しいです。



## 4歳児 「くまくんだったらどうしたとおもう？」の紙芝居を見て「みんなだったらどうする？」

絵本のあらすじは、待ち合わせ場所に来ないくまくん。みんなで探しに行く中で分かれ道や素敵なおもちゃを見つかりますが「くまくんだったらどうしたと思う？」とみんなでくまくんの気持ちになってどこへ行こうとしたか考えます。友だちの事を思いながら考え行動する思いやりの心を伝える本になっています。

この紙芝居を見た後にタイムリーに起こったことを事例にあげ、「友だちはどうしてそうしたと思う？」と問いかけると、その子の気持ちになって考え思ったことを発言していました。タイムリーにあげたことがイメージできたのか、家庭での出来事を話してくれました。「遊んでる玩具を勝手にとってくるねん」「なんで取ったんやろ？」「使いたかったんじゃない？」「遊んでるの楽しそうって思ったんじゃない？」などと相手の気持ちになって考える姿をたくさん感じることができました。今回のほかほかタイムをきっかけに、友だちの気持ちになって考えたり相手を思いやれるひまわり組になってくれたらいいなと願っています。



## 5歳児 「みんなにとって友だちって？」と話し合いをしました。

今回は、みんなの大好きな『ともだち』について話をしたのですが、まず初めに「友だちって何だろう？」という質問をしました。「大好きな人」「困った時に助けてくれる」「遊んでると嬉しいし、楽しい」「友だちできたら嬉しい」といろんな意見が出てきました。みんなにとってとても大切な存在なんだなあと感じました。次に「友だちと一緒にいて嬉しい、楽しいと思った時はどんな時？」と質問をしました。「カードゲームをした時」「鬼ごっこしたり、砂場で穴掘りをした時」等他にもたくさんの意見が出てきましたよ。その後「友だちと一緒にいて困った時や嫌な気持ちになった時は？」と言う質問をしました。子どもたちは「一緒に遊べなかった時」「おもちゃを貸してくれなかった時」「相手の言う事ばかり聞いてる時」と困っている話もボツボツ出てきました。「じゃあ、そんな時はみんなどうしたらいいと思う？」と尋ねると、「嫌な気持ちの人に声をかけてあげる」「助けてあげる」「友だちに助けてもらいたい」等様々な意見が出てきました。困っている友だちを見つけたらどうしたらいいのか、困った時はどうしたらいいのか等みんなで話し合い、確認することができました。友だちは大好き！困っている友だちがいたら助けてあげたらいいという気持ちを今後も大事にしていって欲しいです。

